

# 生産動態調査

## 織維部門

(昭和33年3月度分)

(文書統計課商工調査係)

### 概況

#### 織物

綿織物の生産は前月に引続き増加しており、前月比6%増。引渡高は14%減で、月末在庫高は39%増加した。

絹織物の生産は春夏物の生産時期にかかわらず前月に引続き減少の傾向を辿っており、前月度に比し約5%の減である。引渡高も6%減少しているが、月末在庫高は前月と殆ど同じである。

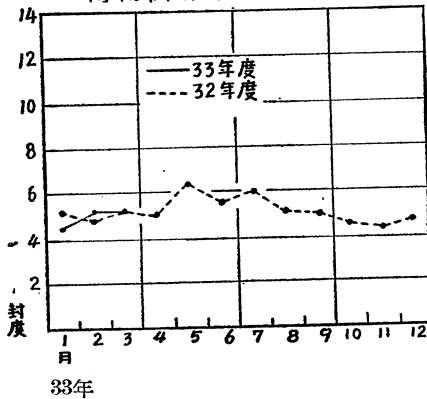
#### メリヤス製品

メリヤス製品の生産は前月度に比し19%増、引渡高20%増であるが、在庫高も24%増加した。

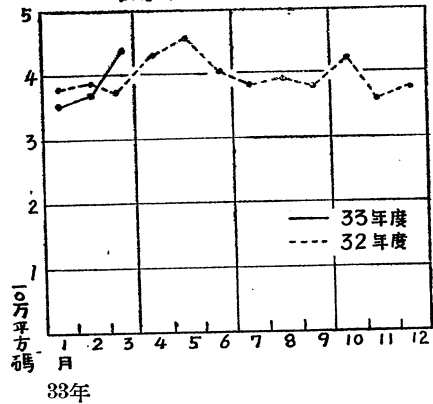
#### 縫製品

縫製品の生産高、引渡高ともに、制服、中衣、肌着が大巾に増加しその他は減少している。

特紡綿糸和紡糸生産推移



織物生産推移



(1) 対象工場数

業種	特紡和紡糸	綿織物	絹織物	メリヤス製品	雑織維製品	縫製品	製綿
対象	4	17	319	11	3	14	11
操業	4	14	290	10	2	14	11
休止	—	3	29	1	1	—	—

② 生産および出荷状況

品目別	単位	生産高		引渡高		月末在庫高	
		当月度	前月100対比	当月度	前月100対比	当月度	前月100対比
計	封度	51,710	98	46,600	82	26,375	124
綿糸	〃	16,000	76	19,000	58	—	—
落綿	〃	9,600	120	9,200	115	1,000	166
ビスコース	〃	15,000	124	13,900	111	1,500	375
特紡綿	〃	4,750	100	4,500	113	1,500	120
和紡	〃	6,360	93	—	—	22,375	140
織物計	平方碼	435,736	116	397,731	102	295,647	116
綿織物	〃	293,314	106	248,453	86	164,931	139
絹織物	〃	32,320	93	33,199	93	79,441	99
絹紡織物	〃	4,181	107	4,156	98	4,855	100
和紡織物	〃	4,549	83	5,800	49	39,082	97
特紡織物	〃	—	—	—	—	—	—
スフ織物	〃	62,186	683	63,433	807	—	—
人絹織物	〃	—	—	—	—	—	—
合成繊維織物	〃	39,186	95	42,690	103	7,338	68
メリヤス生地	封度	4,065	192	3,098	208	2,263	175
製品計	打	12,342	119	12,873	120	15,307	124
肌着	〃	1,870	162	2,019	231	665	82
外衣	〃	141	82	141	81	—	—
手衣	〃	7,778	122	7,458	107	12,173	146
靴下	〃	2,553	96	3,255	122	2,469	78
計	封度	1,552	126	2,442	132	2,107	81
漁網	〃	1,132	185	1,342	160	665	87
漁具	〃	420	68	1,100	105	1,442	78
学校服	着	1,945	93	1,950	98	1,429	99
作業服	〃	1,293	27	610	10	1,085	27
制服	〃	3,761	157	3,761	157	—	—
乳児および子供服	〃	19	26	40	3	861	98
既成服	〃	4,152	83	5,285	88	2,166	86
中衣、肌衣	点	31,850	190	27,114	165	67,745	108
中入綿	封度	31,815	52	35,158	67	26,489	89
ふとん綿	〃	153,499	83	171,544	93	65,836	78

★本表は、生産動態統計調査規則に定められている繊維工場を調査対象としたものであるが、特紡糸、和紡糸以外の紡績工場および抽出調査工場は含まれていない。

# 機 械 部 門

(昭和33年3月度分)

## 概 況

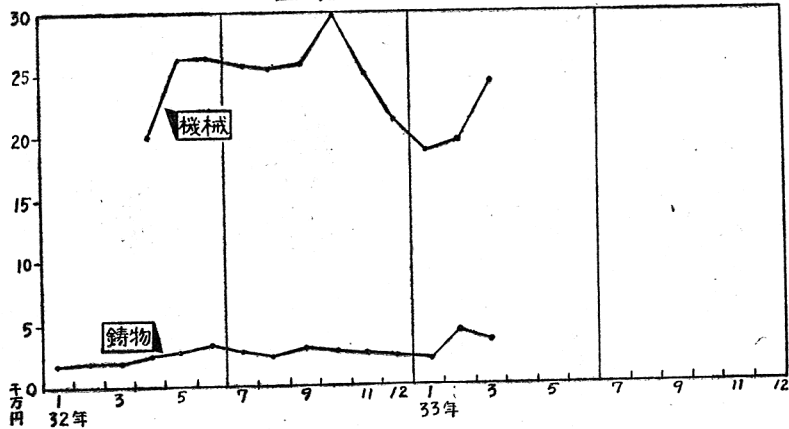
### 機械工業

本工業の前月対比を生産金額についてみれば前月より31%の増となつており、更に従業員1人当りの生産金額については前月577千円に対し本月769千円で33%の増となつている。

### 鑄物工業

前月対比をみれば総合では生産重量において2%、生産金額において13%とそれぞれ減となつている。これを従業員1人当りで見れば重量において前月は433kgであつたが本月は440kgで1人7kgの増であり、金額においては前月59千円、本月53千円で6千円10%の減となつている。更に種類別に見れば銑鉄の生産重量、銅の生産金額、その他銅の生産重量を除き、全般的に前月より減を示している。前年同月と対比すれば総合では19%の生産重量増であるが生産金額では1%の減を示している。このうちもつとも注目されるものはアルミニウム鑄物工業で19%増の生産重量にもかかわらず38%の生産金額の減となつている。

生産金額の推移



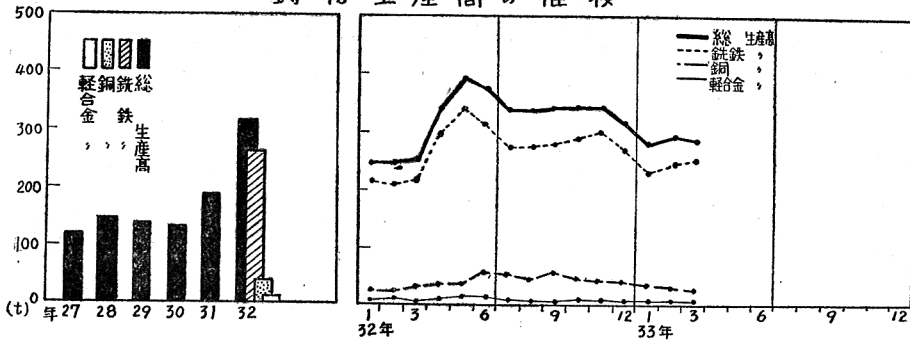
機 械 工 業 (数量=kg、金額=千円)

33 金属製品製造業		34 機械製造業		341 ボイラー原動機製造業 342 農業用機械製造業		344 金属加工機械製造業		346 特殊産業用機械製造業		347 一般産業用装置製造業	
数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
174,727	6,708	1,876台 717,850台 581台 677基	50,325	1,876	4,481	8,925個	7,136	10台	10,700	571台	13,000
349 その他の機械、機械部分品製造業		351 発電用送電用配電用産業用電気機械器具製造業		354 通信機械器具同関連機械器具製造業		357 電気計測器製造業 377 時計同部分品製造業		36 輸送用機械器具製造業		機械工業連盟	
708,925 677基	14,467	1,980台	102,859	2,042台 9,767個	7,808	8,202個	7,123	419,445個 30台	71,703	176,603kg 1,155,264個 4,633台 677基	246,000
対象事業所数				43				対 比		前 月	
事業所実人員				3,206						前年同月	
										131	
										-	

※ 本表は下記の定義にもとずいたものである。

1. 分類方法は日本標準分類製造業Fによる。
2. 調査内容は生産動態統計調査規則機械品目表中にある工場で従業員20名以上（特例超硬工具自転車工業10名以上、作業工具5名以上）を有するものを対象とした。ただし通産局調査分は含まれない。
3. 数量欄中kgで表わせない品目は個数等による。

### 鑄物生産高の推移



### 鑄物工業 (重量=kg、金額=千円)

品目	鑄物総数		鉄鉄鑄物		銅鑄物						アルミニウム鑄物			
	重量	金額	重量	金額	銅		青銅		黄銅		その他銅		重量	金額
					重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額		
産業機械器具用	174,804	14,098	172,859	13,039	499	353	875	470	83	35			488	196
雑 //	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鉄道及び車輛用	15,944	1,875	15,138	1,374	—	—	—	—	—	—	—	—	646	439
電気 // 通信 //	49,629	8,052	40,586	3,424	2,289	1,259	5,222	2,419	—	—	—	—	1,532	950
器具 // 漁具 //	2,547	164	2,540	161	—	—	—	—	—	—	—	—	7	3
湾 // 船舶 //	195	104	—	—	—	—	137	74	37	15	—	—	21	15
用品 //	6,541	243	6,541	243	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
豆および鑄型定盤 //	11,000	385	11,000	385	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ニール //	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
受メタル //	7,485	6,971	—	—	—	—	7,298	6,863	—	—	187	108	—	—
バルブコック //	9,035	2,799	—	—	—	—	4,078	1,312	4,957	1,487	—	—	—	—
建築用 //	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
密機器 //	140	66	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	141	66
自動車 //	3,513	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,513	8
その他の機械器具 //	16,721	1,068	16,476	977	—	—	240	88	—	—	—	—	5	3
その他	1,231	109	1,134	94	—	—	10	5	—	—	—	—	87	10
計	298,785	35,937	266,274	19,697	2,788	1,612	17,860	11,231	5,237	1,599	187	108	6,439	1,690
比 { 前月	98	87	101	98	97	101	79	85	74	70	106	70	73	40
前年同月	119	98	123	110	重量—85				金額—92				119	62
対象事業所数	25	—	—	—	—				10				6	—
事業所当該人員	679	—	—	—	—				291				99	—

表は下記の定義にもとずいたものである。

- 鉄鉄鑄物は10名以上銅合金鑄物、軽合金鑄物は5名以上を有するものを対象とした。ただし通産局調査分は含まれない。
- 鑄物総数中対象事業所および事業所人員欄は実数である。

**雑 貨 部 門**

(昭和33年3月度分)

概 況

**革 靴**

今月の生産数量は301足で、前月に比べると99%とほぼ同調であつた。出荷は104%となつている。

**漆 器**

今月は生産982個であり、前月に比べると45%という減産ぶりであつた。これは本県でもつとも生産量の高い事業場が休業しているためである。

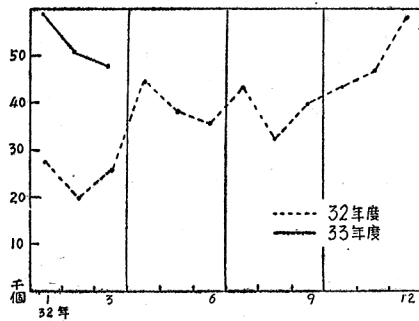
**建築用コンクリートブロック**

今月の生産は48,053個で前月より5%の低下であり、出荷においては逆に15%と増加した。これを前年同月と比較すれば、生産190%と大きく増加している。これを見てもコンクリートブロックの需用度が年ごとに高まっていることがあえる。

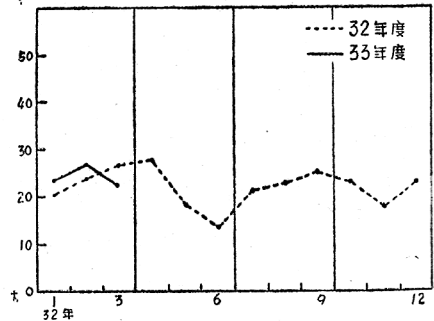
**陶 磁 器**

今月は生産 241,848kgで前月に比べると95%であつた。これを製品別に見ると高压用碇子が最も多く次いで...

コンクリートブロック製品の推移



陶磁器製品の推移



業 種	製 品 名	区 分	単 位	生産数量			出荷数量						月末在庫 数量	事業 所数 (操業)	
				数量	前月 対比	金額	国内向			輸出向					
							数量	前月 対比	金額	数量	前月 対比	金額			
靴	総	数	足	301	99	795	298	104	831	—	—	—	431	5(5)	
	男子	総革靴	〃	186	101	535	199	118	595	—	—	—	181		
	婦人	〃	〃	106	98	234	95	90	226	—	—	—	245		
	その他	靴	〃	9	69	26	4	31	10	—	—	—	5		
漆 器 (木製)	総	数	個	982	45	222	984	99	222	—	—	—	279	12(9)	
	食器	類	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	容器	類	〃	352	72	72	352	123	72	—	—	—	100		
	食卓子、膳盆	類	〃	530	—	135	532	105	135	—	—	—	176		
その他	〃	〃	100	—	15	100	—	15	—	—	—	3			
建築用 コンクリート ブロック	総	数	個	48,053	95	1,579	56,500	115	1,924	—	—	—	72,641	5(5)	
	A種	基	本	〃	194	15	7	1,480	114	59	—	—	—		5,999
		異	型	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—
	B種	基	本	〃	3,222	118	97	1,390	107	55	—	—	—		5,018
		異	型	〃	680	125	20	260	33	10	—	—	—		881
	C種	基	本	〃	29,347	136	1,016	27,525	119	1,022	—	—	—		28,133
		異	型	〃	3,583	53	156	4,190	84	164	—	—	—		9,040
帳壁用	ブロック	〃	11,027	70	233	20,459	134	580	—	—	—	21,836			
陶 磁 器	総	数	珎	241,843	95	24,963	194,867	83	24,557	—	—	—	297,914	22(2)	
	電気 用品	特別高圧用	碍子	〃	30,396	76	13,006	30,396	76	13,006	—	—	—		—
		高圧用	碍子	〃	2,464	140	4,553	2,464	140	4,553	—	—	—		—
		低圧用	碍子	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—
		その他	〃	〃	4,877	101	5,385	4,877	99	5,385	—	—	—		135
	家庭	用品	〃	156,930	104	1,495	119,130	83	1,207	—	—	—	263,303		
	衛生	用品	〃	46,000	79	450	38,000	86	406	—	—	—	33,100		
その他	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	200			

※対象工場数、生産数量及び出荷数量において2以下の事業所については公表を禁じられているので、金属洋食器、赤れんが、がん具、がらす製品は除外した。

革靴、陶磁器は5人以上の事業所、漆器、コンクリートブロックは全事業所である。